



せんだん

みんな なかよし みなげんき

安来市立南小学校 校長室便り

令和4年2月18日

<https://www.city.yasugi.shimane.jp/gakkou/minami-es/>

子どもたちの成長

できるだけ毎日各学級を回って授業の様子を見たり、休み時間に校庭や図書館、各教室をのぞいたりするように心がけています。といってもじっくり関わるわけではなく、短い時間に学習の様子を見たり、言葉のやり取りをしたり、一緒に遊んだりする程度です。

そんな中、今週は自習監督に入ったり、読み語りに行ったりと比較的じっくり子どもたちとふれあうことができました。そこで感じたことは子どもたちの成長です。担任不在でも集中して自習課題に取り組む姿、自分勝手な発言や行動が見られなくなった姿、やるべきことを自分たちでこなす姿など、4月と比較してできることが増えたり、できるレベルが高くなったりと感心させられました。

職員にも話しましたが、毎日見ていると気がつきにくいかもしれませんが、子どもたちは着実に成長しています。小さな成長でも積極的に見つけて褒めていきたいと思えます。

【余談】

担任が学級の子どもたちに、「校長先生が先生がいなくてももしっかり学習していたって褒めてくださったけど、先生の前でもそうしてほしいな。」と冗談混じりに話すと、子どもたちは「だって先生だから。」と答えたそうです。担任との信頼関係なのか、それとも甘えなのでしょう。そんなふうにやりとりできることは、いい関係性の学級づくりができている証ですね。

校内ふれあい広場作品展

～なかよし学級作品～

なかよし学級の4人が、この1年間で作りためた作品を1階ホールに展示しています。

本来ならば1月28日～2月1日にプラナで展示され、多くの方に見ていただくこととなっていました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、やむを得ずそれぞれの学校での展示となりました。

プラナでの展示に備え、子どもたちはポスターを作り、校区内のお店に掲示のお願いにも行き、快く貼らせていただいていたのですが、残念ながら回収することとなりました。

合同学習で作った陶芸作品や草木染、国語や図工などの学習で作った創作絵本やスタンプアートや毛筆習字、描画、クラフト作品などどれも力作揃いです。

17日にはどじょっこTVに取材に来ていただきました。



出雲ナンキンも大きくなりました

生活委員会がお世話をしてくれている出雲ナンキンもずいぶん大きくなりました。南小にやってきた時は、体長2cm程度でしたが、今では大きいものは6cm以上になっています。

色味もオレンジがはっきりしてきたものもあり、ようやくそれらしくなってきました。未だ色がつかないものもいるのが不思議です。



2/21～3/31の主な予定

- 2/22 (火) 後期児童総会 (リモート開催)
- 2/23 (水) 天皇誕生日
- 2/25 (金) 6年生を送る会 (リモート開催)
- 3/ 1 (火) 街頭指導
- 3/ 2 (水) 二中ブロック合同学習会 (予定)
- 3/ 3 (木) SC来校日
- 3/ 4 (金) 全校朝礼
- 3/ 7 (月) 分団会
- 3/ 8 (火) 大掃除、PTA役員引継会
- 3/10 (木) アイテムデー
- 3/16 (水) 卒業証書授与式予行練習
- 3/18 (金) 卒業証書授与式
- 3/21 (月) 春分の日
- 3/24 (木) 修了式、離・退任式
- 3/25 (金) 学年末休業日開始

<備考>

- 4/ 8 (金) 着任式、始業式
- 4/11 (月) 入学式

Chromebookの活用から

安来市ではICTを活用した学習を積極的に進められています。その一環として全校児童に一人一台Chromebookが貸与され、学年に応じていろいろな使われ方がされています。

1年生は毎朝の健康観察や一日の振り返りで使用しています。キーボードにはひらがなだけでなく習っていないアルファベットも併記されているので混乱しそうですが、毎日使いこなすうちにだんだん慣れてきています。それよりもChromebookを使うのが楽しくて、すぐに覚えることができているようです。

「覚えなきゃいけない」と考えてしまうと難しくなるかもしれませんが、「覚えたい」と子どもの心に火がついているからこそ会得できている知識やスキル、学びに向かう力のように感じます。ビッグパッドの操作も教員が戸惑っているとすぐに「こうだよ。」と教えてくれる子どもたち。まさに「負うた子に教えられ」といった場面が多く、多くの学年で見られます。

教員は全てのことを教えることはできませんが、心に火をつけ、自ら探究していくことができる子どもを育むよう努力します。

